

第7回新倉山復旧協議会

及び川岸地区山林火災復旧事業説明会 次第

日時：平成31年3月29日（金）19：00～

場所：川岸支所2階講堂

1 開会

2 挨拶

3 内容

(1) 復旧協議会

- ・現状と今後の予定について（資料①-1～①-4）

(2) 復旧事業説明会

- ・林業専用道大洞線について（資料②）

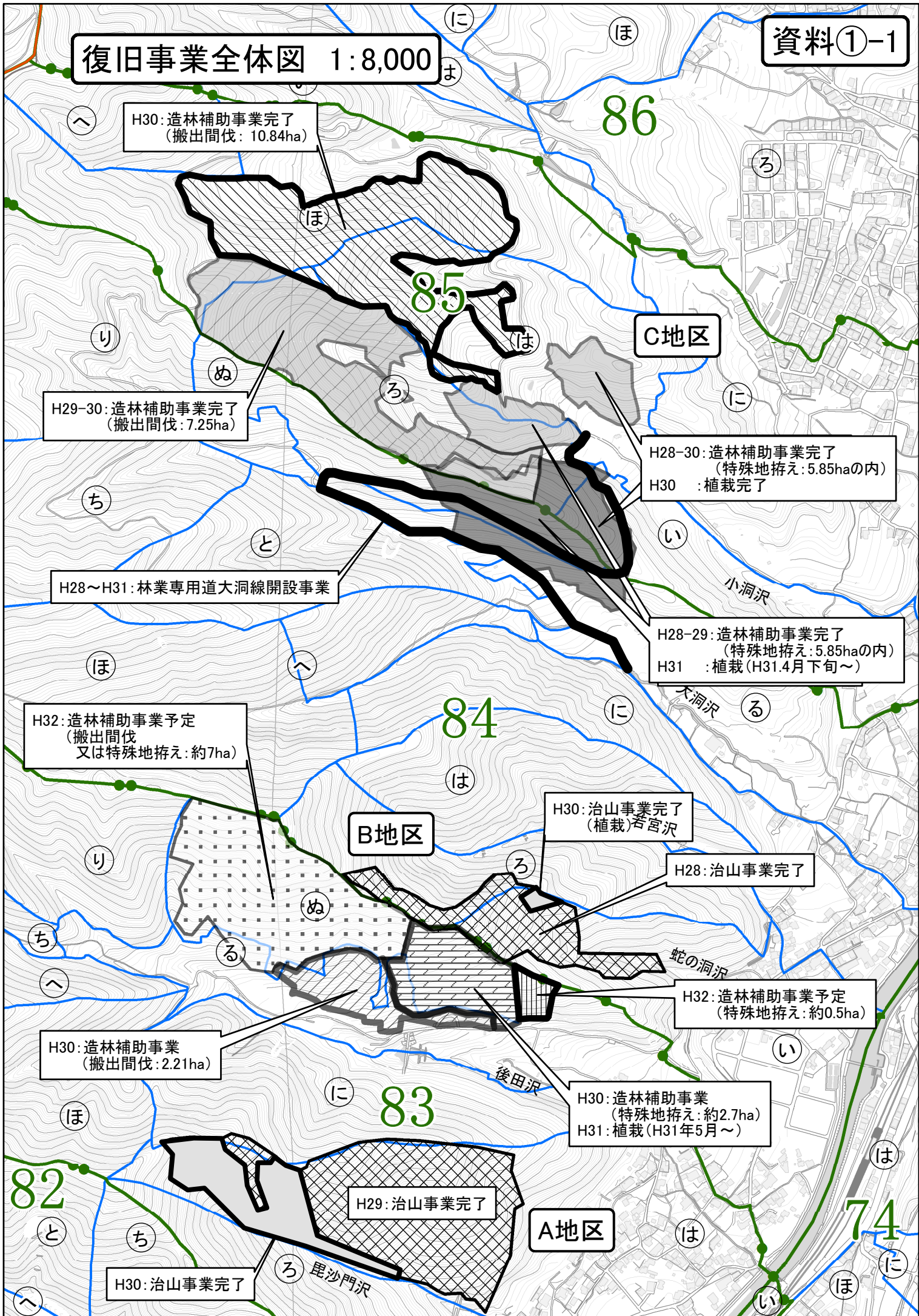
- ・治山事業について（資料③）

(3) その他

4 質疑

5 閉会

復旧事業全体図 1:8,000





間伐①



間伐②



特殊地拵え①



特殊地拵え②



遠景①



遠景②



近景① (実生アカマツ)



近景② (植栽アカマツ)



遠景 (H30.6.9 植樹会場)



近景 (植栽アカマツ)



近景 (植栽アカマツ)



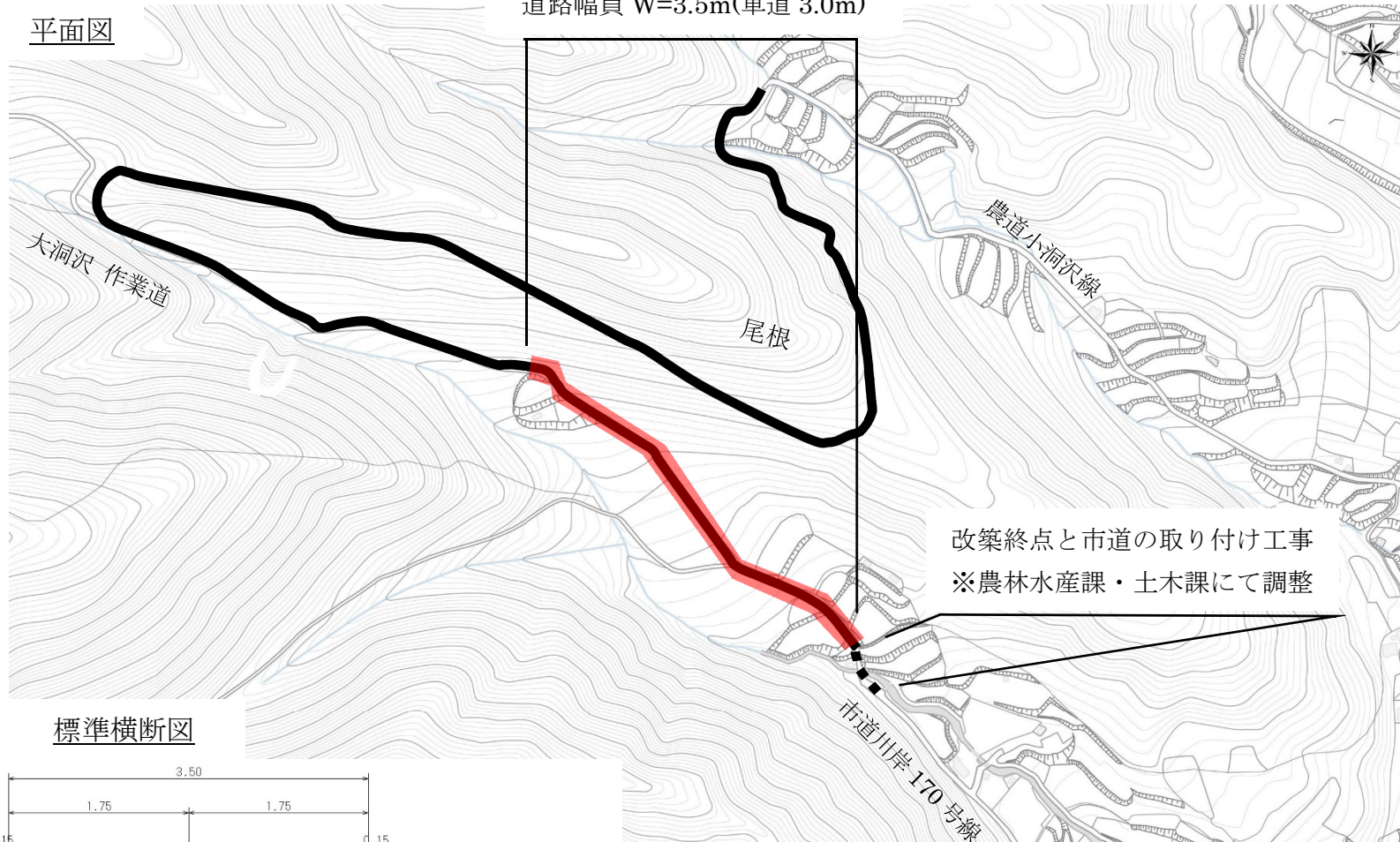
近景 (植栽アカマツ)

林業専用道 大洞線開設工事等について

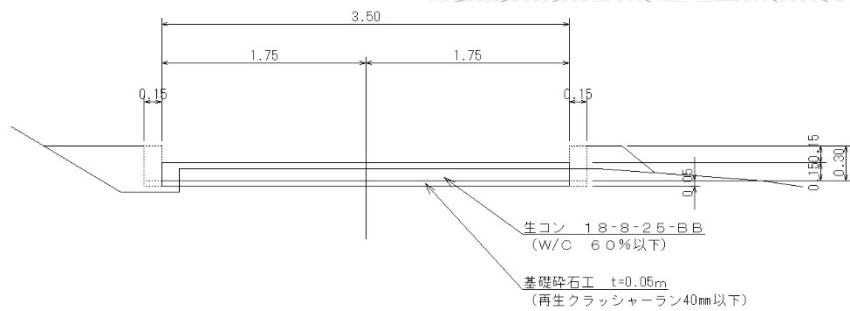
○整備概要

H31 改築延長 L≒320m
 道路幅員 W=3.5m(車道 3.0m)

平面図

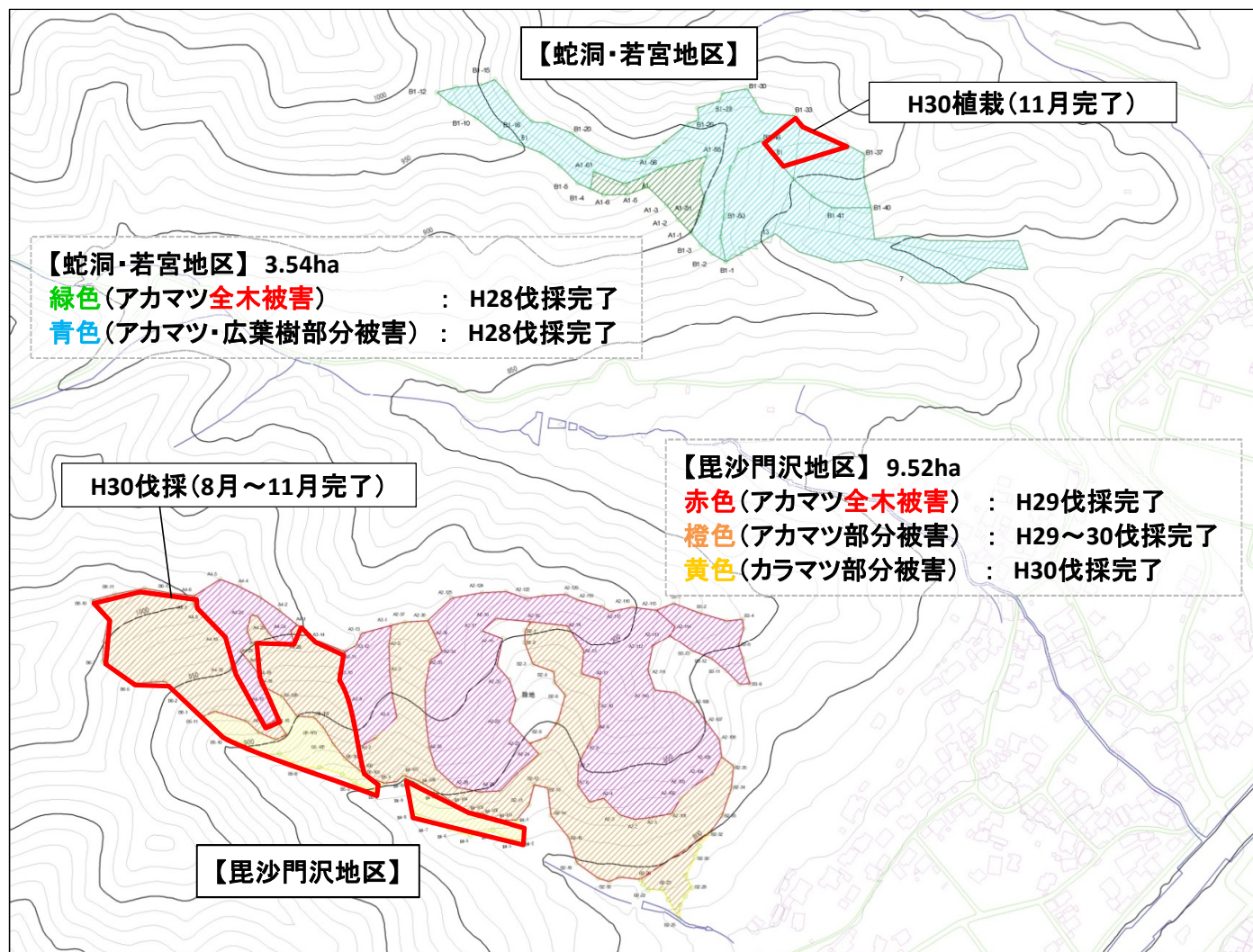


標準横断面図



○今後の日程 (予定)

補助事業手続き	4月～6月
工事発注・業者決定	6月～7月
工事期間	7月下旬～翌1月頃



H30年度伐採作業完了後の状況



現在の様子(平成30年5月17日・21日、12月7日撮影)

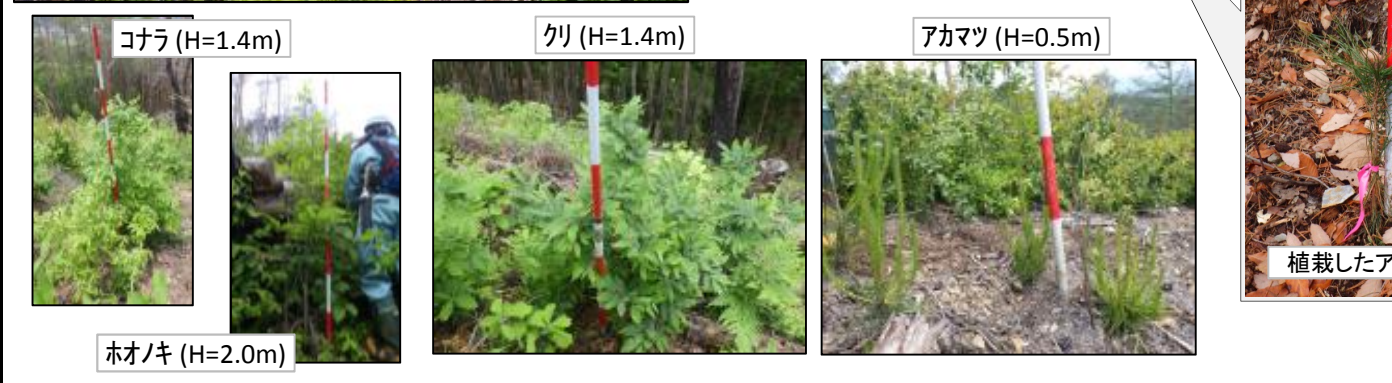
後継樹の自然発生状況

毘沙門沢地区(伐採後)

蛇洞・若宮地区(植栽後)

地区	樹種・被害区分	面積	伐採前の本数	整備内容	伐採後
毘沙門沢	アカマツ(部分被害)	1.80ha	枯損 230本/ha 生存 800本/ha	衰弱しているアカマツも含めて枯損木の伐採を行った。	伐採木 500本/ha 残存木 530本/ha
	カラマツ(部分被害)	0.68ha	枯損 530本/ha 生存 580本/ha	衰弱しているカラマツも含めて枯損木の伐採を行った。	伐採木 620本/ha 残存木 490本/ha

※ 伐採木は1.5～2mに玉切りの上集積し、杭を打って、転落を防止しました。



- 【現 状】**
- ほとんどの伐採済み斜面では、自然に後継樹が生え始めています。(コナラ、ミズナラ、クリ、ホオノキ、アカマツ、ウリカエデ、ウワミズザクラ、リョウブ、タラノキなど)
 - 急斜面で土壌が未熟な箇所では、その場に合った樹種のうち、現時点で発生が少ないアカマツを310本植栽しました。
- 【将来的な森林化】**
- 自然発生した後継樹を活かし、現場に適合した強い森林を目指します。
 - すみやかに森林化するように、必要に応じて再度治山事業(下刈・除伐等)を導入します。